

OIL FILTER 症状チェック②

オイルフィルターからオイルが漏れている

もしオイルフィルターからオイルが漏れているのを発見したら、まずフィルターを外して良くチェックしてみましょう。フィルターが緩んでいたからといって締め付けるだけでは、また同じことが起こる可能性があります。フィルターからのオイル漏れはフィルター交換時の注意で未然に防ぐことができます。

1. 車に適合したフィルターが装着されていますか？ 外観が似ていても内部構造が違えば使用できません。

- フィルターにはたくさんの種類があります。車種や年式、型式に合ったものを使用して下さい。
- 外観形状が似ていても内部構造やネジのサイズが違えば当然使用できません。
- また、ガスケットの形状や寸法が違ったまま無理に取り付けるとトラブルの原因になります。

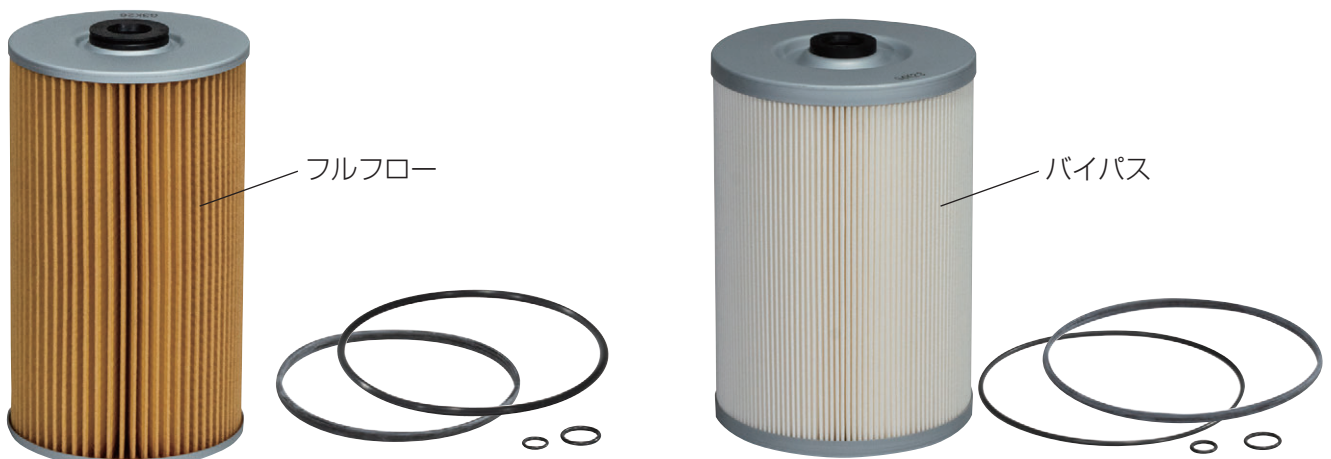


ガソリン車用

ディーゼル車用

2. リプレスタイプのフィルターを交換するときは付属品の順番を間違えないで。

- ディーゼル車用のリプレスタイプは、さまざまな付属品からなるため、その組み合わせや順番を間違えるとしっかりシールされずオイル漏れの原因となります。
- フルフローとバイパスのセット品では、さらに付属品が増えるため、より一層の注意が必要です。



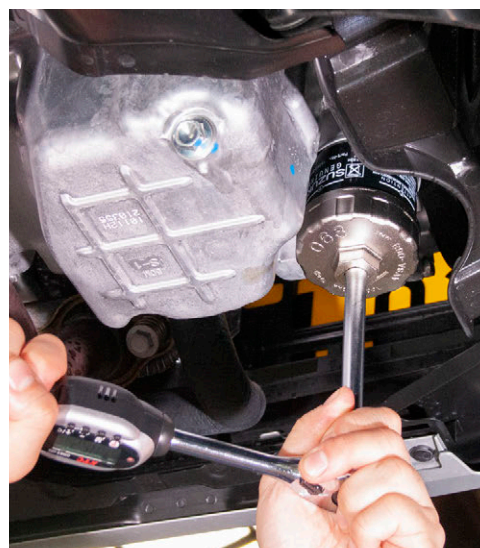
3. エンジン側のブラケットシール面や取り付けネジをよくチェックし、キレイにする。

- ブラケットシール面に汚れたオイルが付着していたり、取り付けネジの一部が変形していると、完全な締め付けができません。
- その結果、取り付け不備となってフィルターが緩み、オイル漏れが発生することがあります。
- エンジンルーム内はとても複雑で見にくいことが多いので、ブラケットをよく確認して作業をして下さい。



4. フィルターの締め付けは規定トルクまたは指定された回転数で行う。

- 交換時にはガスケットに新しいオイルを塗り、規定トルクまたは指定された回転数で締め付けを行って下さい。締め付けの回転数はパッケージやフィルター本体等に記載されています。締め付けが強くても弱くてもトラブルの原因となります。
- 締め付けが弱い場合は、走行中フィルターが緩んでオイル漏れの原因となります。



5. カートリッジタイプのコンビネーションフィルターの場合

- カートリッジタイプのコンビネーションフィルターは、一つのケース内にフルフローとバイパスの2つのエレメントがセットされています。
- このタイプのフィルターを締め付ける際には、インナー部のバイパス、フルフロー分離ガスケットが先にセンターボルトの先端にあたり、それをさらに締め付けると次に OUTER 部のガスケットがエンジン側のブラケットにあたる仕組みになっています。
- このため、インナー部のガスケットで一度キツくなり、この状態で締め付けをやめてしまうことがあります。こうなると、締め付け不十分でトラブルの原因となるので十分に注意して下さい。

